



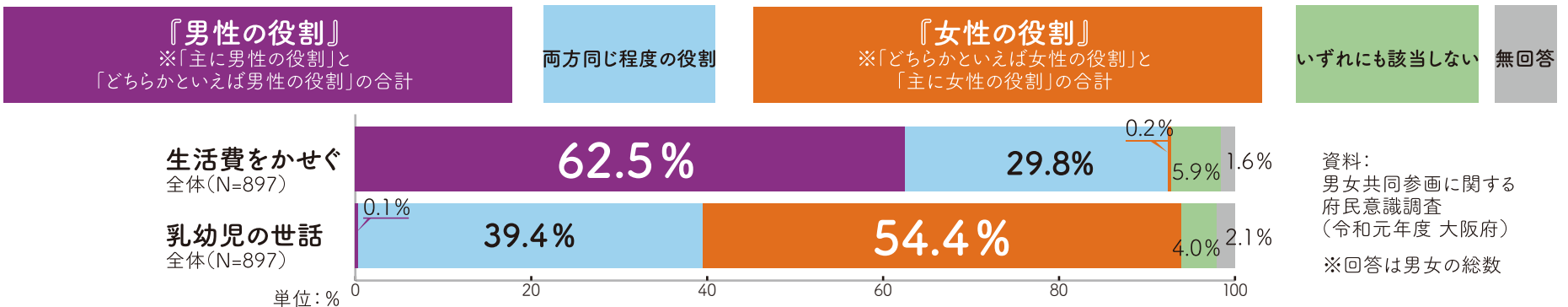
性別による思い込み、ありませんか？

私たちは見聞きしたことや自分の経験から、無意識のうちに様々な思い込みを持ってしまふことがあります。あなたも無意識に思い込みをしていないか、一緒に考えてみませんか？

男女共同参画啓発ページ
女と男のコスモスネット
人権政策課 ☎072-433-7160

▶ 家庭内の役割分担の意識 ◀

下のグラフを見ると、「生活費をかせぐ」は『男性の役割』と考える人が62.5%、「乳幼児の世話」は『女性の役割』と考える人が54.4%で、家庭内で担う役割に男女で大きく違いがあります。



資料：
男女共同参画に関する
府民意識調査
(令和元年度 大阪府)
※回答は男女の総数

▶ 仕事や家庭の“あたりまえ”をチェックしよう ◀

次の項目で「そのとおりだ」と思うものにチェックを入れてみましょう。

- 仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い
- 男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ
- 女性の上司には抵抗がある
- 事務作業などの簡単な仕事は女性がすべきだ
- 男性は人前で泣くべきではない
- PTA には、女性が参加するべきだ
- 家事・育児は女性がすべきだ
- 男性は仕事をして家計を支えるべきだ

チェックが多く入った人は、思い込みが少し強いようです。実際にまわりの状況はどうでしょうか？

参考：『無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)ーチェックシートー』(令和3年度内閣府男女共同参画局)



▶ あなたには、こんな経験はありませんか？ ◀

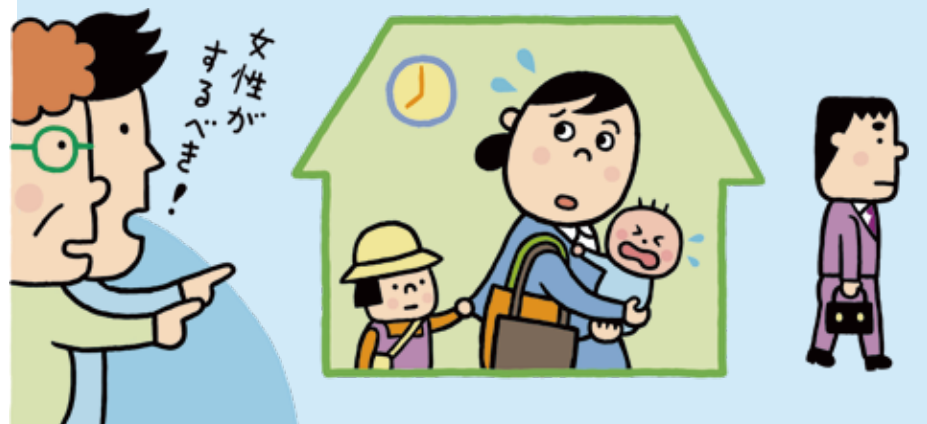
職場 「仕事」最優先を男性に求める職場

日本では長時間労働を良しとする意識が根強く、国の調査によると男性の4人に1人が「男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ」と決めつけられた経験があるとしています。今は仕事に対する価値観も多様化しています。過去の固定観念にとらわれると、優秀な人材を失うことになりかねません。



家庭 根強い「家事・育児は女性」の意識

家事・育児に関しては、女性の半数近くが「女性がすべき」と決めつけられた経験があるとしています。しかし今は、共働き世帯数は専業主婦世帯数の約2.5倍(男女共同参画白書 令和4年版)です。家族を構成する誰もが役割を持ち「ともに家族を支える一員として自分の役割と責任を果たす」という意識で、お互いを尊重することが大切です。



参考：『無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)ー事例集ー』(令和3年度内閣府男女共同参画局)

▶ 「無意識の思い込み」はみんなの問題 ◀

「無意識のものの見方やとらえ方の偏り」は、誰もが持つものです。しかし、自分の思い込みに気づかずにいると、勝手に決めつけて相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めたりすることがあります。

まず自分の「無意識の思い込み」に気づき、とらわれ過ぎず、周囲にも押しつけないことを意識してみましょう。

貝塚市女性相談

専門の女性相談員による面接相談 (無料)
毎月第2・4月曜午後1時～4時 (1人45分)

要予約 人権政策課 ☎ 072-433-7160

(平日午前8時45分～午後5時15分)